

◆特集／医療アクション！

病院長が変わります

～変わらないのは、
地域医療に貢献、進化し続けることです～

2014 冬

はつたて



病院長が変わります

～変わらないのは、
地域医療に貢献、
進化し続けることです～

住田 安弘先生
(平成26年1月
院長就任)



松本 好市先生
(平成26年1月
名誉院長就任)

マインドのバトン 松本前院長
15年間、四日市社会保険病院の院長として日々充実感を持ち職務を全うすることができたと思っております。これもひとえに皆様方のあたたかい支えがあればこそと感謝を申し上げます。
この4月には独立行政法人地域医療機能推進機構、四日市羽津医療センターという新しい機構に移ります。本当にいい区切りとなりました。55歳の時に院長に就任以来、大腸肛門病IBDセンターの立ち上げ、PET装置の導入、院内保育所開設、320列マルチスライスCT導入、糖尿病センターの立ち上げ、そして、平成24年に地域医療支援病院に認定され、さらに訪問看護ステーションをオープンしました。自分が思い描いていた8割から9割は達成できたと自負しております。

特集 医療アクション

2~4P

病院長が変わります

～変わらないのは、地域医療に貢献、進化し続けることです～

院内外のホットニュース

5・6P

◆教えてコーナー

健康にまつわる選りすぐりの知恵。

7・8P

◆ホッ得! 今回のお題【マスクの正しい使い方】

理念/方針/患者権利

◆私が伝えたい!!はづの魅力

9・10P

◆情報to (通)

●ご意見に答えるコーナー

11P

◆自遊自在〈冬のお風呂「ヒートショックと健康効果」〉

12P

◆部署紹介 地域連携室「すずらん」

13P

◆連携室だより

◆病診連携登録医〈中嶋循環器科内科〉

14P

◆職員が紹介する「お・す・そ・わ・けスポット」

15P

管理栄養士が考える旬の健康食

16P

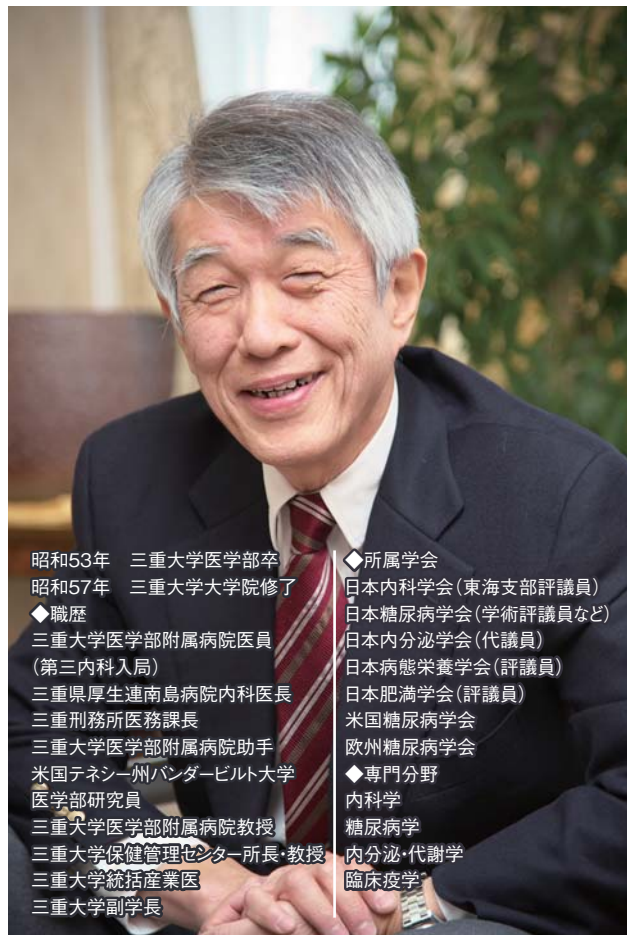
◆おすすめ!!「季節を食す」

◆外来診療担当表

17・18P

4年前に他界したが父がよく言っていたことは、「笑顔はみんなを幸せにする」でした。日本人全体に言えることですが、日本人は「笑顔」が苦手です。ドクターでも

笑顔はみんなを幸せにする
 移り、その後はずっと淡路島で育ちました。開業医である父の背中をみて医師を目指し、昭和53年三重大学医学部を卒業後、第三内科に入局し南島病院（現南島メディカルセンター）へ赴任しました。その後、三重刑務所に赴任し医務課長として、受刑者の健康管理を行っていました。平成元年（1989年）にはアメリカテネシー州のバンダービルト大学へ2年留学しインシュリンの作用について研究させていただきました。さまざまな研究が認められ教授への推薦をいただき、平成21年、三重大学保健管理センターの教授・副学長となりました。実は、保健管理センターに赴任する前から、この病院には週一回診察にきており、当時糖尿病センターを作りたいと松本院長からお話を伺い、協力させていただいておりました。そのような繋がりから、今回、このお話が決まりました。



昭和53年 三重大学医学部卒業
 昭和57年 三重大学大学院修士課程修了
 ◆職歴
 三重大学医学部附属病院医員（第三内科入局）
 三重県厚生連南島病院内科医長
 三重刑務所医務課長
 三重大学医学部附属病院助手
 米国テネシー州バンダービルト大学医学部研究員
 三重大学医学部附属病院教授
 三重大学保健管理センター所長・教授
 三重大学統括産業医
 三重大学副学長

◆所属学会
 日本内科学会（東海支部評議員）
 日本糖尿病学会（学術評議員など）
 日本内分泌学会（代議員）
 日本病態栄養学会（評議員）
 日本肥満学会（評議員）
 米国糖尿病学会
 欧州糖尿病学会
 ◆専門分野
 内科学
 糖尿病学
 内分泌・代謝学
 臨床疫学

ナースでも受付でも、笑顔で対応することが大切だと思います。また、仕事には役割分担があります。「この仕事は私の仕事ではない」という場合もあるでしょう。しかし、そこを臨機応変に対応して欲しいのです。是非、与えられた仕事には全力で投球していただき、笑顔を忘れない職員となっ

地域医療への貢献
 大学での経験を生かして、先代の松本院長が築いてこられたこの病院を引き継ぎ、地域の皆様とともに最良の医療をめざし、超高齢化社会における地域住民の多様なニーズに応えられるよう全力を注いでいく所存でございます。



3つの目標

就任の際、私は3つの目標をもって臨んで参りました。一つ目は、地域に開かれた施設になること。そのためには医師会からも住民からもこの病院の得意分野が何なのかを知っていただくこと。二つ目は、職員が自信をもって気持ちよく働ける施設にすること。三つ目は、健康管理センターが

担う予防医学、当院が担う急性期医療、老人保健施設が担う福祉、最近開設した訪問看護ステーションで、なるべく在宅で医療を受け、最期を迎えられるという医療と福祉の流れを一体化した形の施設にすることでした。今回の新しい機構の使命が「地域医療、地域包括ケア連携の要として、超高齢化社会に於ける地域住民の多様な

ニーズに応え、人々の生活を守る」ですので、私が行ってきたこととリンクし大きな変換をする必要無く、新しい機構に胸を張って入っていきます。
今後この地域の核に
 後任の住田医師は、10年後輩で、私が大学で講義をしていた時の学生です。糖尿病センター立ち上げの頃から携わってくれている彼のことで、何も言わなくても期待通りにやってくれるでしょう。今後この地域の核となるようなセンターにむけて、新院長にも何卒一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
院長就任までの経緯——住田院長

この度、院長に就任いたしました住田院長です。明治30年に隣家の森家が開設した羽津病院を母体とし、昭和22年に社会保険病院の第1号施設としてスタートした伝統ある病院に、院長として就任いたしますことに、重責ではありますがやりがいを感じております。簡単ではございますが、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。大阪生まれ、4歳の時に父の開業とともに淡路島に



胃がんリスク検診 (ABC検診)ご紹介

ピロリ菌について

30年前オーストラリアで胃に住み付いているピロリ菌が発見され、のちの研究で胃潰瘍、胃炎の主な原因で胃がんの発生にも深く関わっている事が判りました。ピロリ菌感染率は、井戸水を飲んでいた世代に高く、60〜70才代では70%以上です。今では上下水道が整備され感染する人は非常に少なくなりました。なお、胃がん検診を初めて受ける事が多い40才での感染率は27%です。

ピロリ菌感染すると胃炎が生じ、数十年経過して一部の人に胃がんの発生する危険性が高まります。

胃がんリスク検診とは？

血液検査でピロリ菌感染の有無（血清ピロリ菌IgG抗体）と胃粘膜萎縮の程度（血清ペプシノゲン値）を測定し、胃がんになりやすい状態かどうかを判断する新しい検診法です。

健康診断でバリウムを飲んでX線写真を撮ったり、胃カメラ検査を受けたりすると併用して胃がんリスク検診を受けていただくのがお勧めです。

胃がんリスク検診Q&A

Q 申し込み方法は？

A 健康管理センター窓口またはお電話で申し込んでいただけます。

Q 検査方法は？

A 血液で簡単に検査できます。

Q 費用は？

A 4000円です。

胃がんリスク検診で危険度が高いと判断された方は、必要に応じて除菌治療をお勧めしています。



検診を受け、がんの早期発見・早期治療に努めましょう！

ホッ!得

今
回
の
お
題
カ
ゼ
や
イ
ン
フ
ル
エ
ン
ザ
を
防
ご
う!

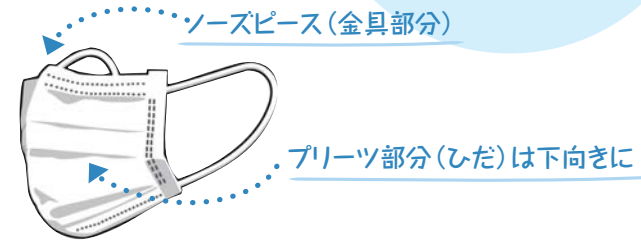
「マスクの正しい使い方」。

寒い季節になり、カゼやインフルエンザの流行時期になってきました。カゼやインフルエンザ予防として、また、咳をしている人はエチケットとしてマスクの着用が大切になります。マスクはただ着けているだけでは、マスクの効果は十分に発揮されません。マスクの正しい使い方知っていますか？間違った使い方をしていますか？マスクの正しい使い方、間違った使い方を紹介したいと思います。



着け方

1 マスクの内側・外側を確認する。ノーズピース(金具部分)を折り曲げる



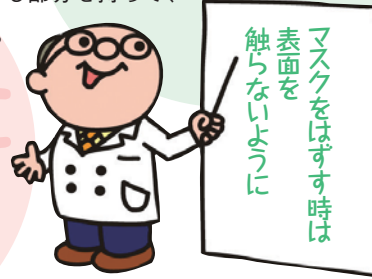
2 ゴムを耳にかけ顔にあて、ノーズピース(金具部分)を鼻の形に合わせ、ブリーツを伸ばしてあごまで覆います。
注) しっかりあごまでマスクをかけることが重要です

3 両手で顔との隙間がないように密着させる。
注) ウィルスは細かな隙間から入り込みます。できるだけマスクは顔に密着させましょう。



はずし方

マスクを外すときはなるべくゴムひも部分を持って、表面は触らないように外しましょう。



1 鼻が出ている

- 鼻が出たら意味がありません。ウィルスを鼻から吸い込んでしまいます。
- 話したりするとずれるので注意。ずれた場合は正しい位置へ直しましょう。

2 アゴが覆われていない

- ウィルスが入り込む隙間を少なくするために、あごまでしっかり覆いましょう。



3 マスクをアゴや腕にかけている

- アゴの部分や腕などにはウィルスなど、飛散物が付着している可能性があります。それがマスクの内側に付いてしまいます。

4 マスク表面を触らない

- マスク表面にはウィルスが付着していることが考えられますので、使用中や捨てる際には、マスクの表面をなるべく触らないようにしましょう。マスク表面(特に表)を触ったら手を洗いましょう。



病院理念

良質で安全、患者中心のゆとりのある医療・福祉の提供と保険予防活動による健康増進への貢献

基本方針

1. 職員は、奉仕の精神に徹し、自らを厳しく律し、良質かつ安全な医療福祉の提供のため、研鑽を積みまします。
2. 科学的な根拠に基づいた保健予防活動・オーダーメイド医療の提供に努めます。
3. 十分な情報提供と説明に基づく理解・同意を最重視し、自己決定権を尊重します。
4. 療養・職場環境の整備に努め、良好な病診・地域連携、職員間のチームワークを大切にします。
5. 模範的な健康保険診療を実施します。

患者さんの権利

1. 誰もが、一人の人間として、基本的人権が尊重され、平等に、良質な医療を受ける権利があります。(基本的人権と公平な医療)
2. 診療上得られた個人情報の秘密は守られます。(プライバシーの保護)
3. 受ける治療や検査に必要な情報は、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで説明を受け、かつ自らの意思で、病院・治療・検査法などを選択する権利があります。(知る権利と自己決定権)
4. 診療録は、患者さんと病院の共有財産であり、治療内容、費用明細などを閲覧することができます。(診療録の共有)

間違った使い方

私が伝えたい はづの魅力

I love yokkaichi.



薬剤師になって、30年近くになります。この間、病院薬剤師の業務は大きく変わってきました。薬局の中でお薬を調剤することが主であった時代から、20数年を経て、今は病棟に薬剤師が常駐して直接患者さんと接したり、医師や看護師などの医療スタッフと連携し、チーム医療の一員として診療に関わるようになってきました。お薬が適切に使われているかをチェックし、薬物療法の質を確保することが重要な役目の一つとなっています。加えて、病院の中ではいろんな場所でお薬が使用されており、病院における医療安全のキーパーソンとして、薬のプロフェッショナルである薬剤師に求められる役割がとて大きく広がっています。当院では、患者さんへ安全安心な医療を提供するため、お薬の適正使用に薬剤師が積極的に取り組んでいます。

薬剤師 薬剤部長 松田 浩明

好きな言葉 「隅を照らす」



当院に就職して9年が経過しようとしており、現在様々な検査に携わらせていただいています。患者さんと接する時間は短いですが、私は常に患者さんが一番求めることは何かを考え、より質の高い検査を行えるよう心がけています。マンモグラフィやバリウムを用いた胃の検査、超音波検査など検査には患者さんに負担がかかるものが多々あります。がんの早期発見や、病期の程度などがより分かりやすい画像を医師に提供することももちろん、その中で患者さんの苦痛が少しでも和らげられる検査を行うことがより質の高い検査と考えられます。これからも他職種とのスタッフと共にチーム医療を大切に、患者さん第一の病院でありたいと思います。

診療放射線技師 本多 弥生

好きな言葉 「思いやり」



6病棟看護師 浅井 里江子

好きな言葉

「持ちつ持たれつ」



私が所属している6病棟は消化器内科・呼吸器内科・婦人科の混合病棟です。慢性疾患の患者さんが多く退院後の生活指導を行ったりしています。また長期療養の患者さんが多く退院調整にも力を入れています。患者さんと家族が納得、安心して退院できるように医師をはじめMSW・理学療法士・薬剤師・栄養士と連携しサポートを行っています。患者さんが笑顔で退院されるのを見るとやりがいを感じることが出来ます。これからも患者さんに寄り添った看護を行っていきたく思います。

「カルテ」とは・・・医師や看護師をはじめとする各スタッフが、患者さんの治療内容を記録し情報を共有する大切なものとなります。紙のカルテであった時代から、電子カルテとなった現在もその大切さは変わりません。そのカルテを管理することが私の仕事で、過去のカルテなど適切に管理することで日々の診療がスムーズに行われるようにしています。その役割に責任感を持って日々業務を行い、患者さんの病院にかけられた不安な気持ちをカルテという記録を通して感じ取り、診療を支える一員として貢献していきたいと思っています。

診療情報管理室 増田 智恵

診療情報管理士

好きな言葉 「一歩前へ」



羽津訪問看護

ステーション看護師 棚澤 明美

好きな言葉 「和」



羽津訪問看護ステーション絆では、四日市市全域と三重郡のお宅を訪問させていただいています。スタッフは看護師6名、事務員1名と少数ですがチームワークがとても良く、ステーションの雰囲気も温かく家庭的です。まさに私が好きな「和（お互いに相手を大切にし、協力し合う関係にあること）」の言葉通りの職場です。私たちは、療養者さんの生活の場で、その方と家族のQOL（生活の質）が維持できるように看護を行っています。お任せ医療・お任せ看護ではなく、その人らしい生活をしてもらいたい。そのためには療養者さんが納得できる医療・看護を選ぶよう、インフォームドコンセント（説明と同意を十分に行うことを大切にしていきます。そして笑顔も一緒にお届けできたらいいなと思っています。これからも、地域の皆さんに満足していただけるような質の高い看護が提供できるように頑張っていきたいと思っています。

冬の寒い時期のお風呂は最高ですよ。

でも寒い時期のお風呂では急激な温度差で起こる

*ヒートショックで、心筋梗塞や脳血管障害など重篤な症状を引き起こすことがあります。冬のお風呂やトイレには要注意です。



*ヒートショックとは？ 温度差による血圧の急激な変動や脈拍が速くなる状態のこと

こんな方は注意が必要

- 65歳以上の高齢者の方
- 高血圧、動脈硬化、糖尿病の持病がある方
- 飲酒後に入浴する方
- 深夜に入浴する方

ヒートショック対策

- ① 脱衣所に暖房器具を置いて、あらかじめ室内を暖めておく。
- ② 浴室に暖房設備が備わっている場合は、入浴前室内を暖めておく。その他、風呂のふたを開け、蒸気で浴室を暖めておく。また、暖かいシャワーで壁や床を流し、浴室内の温度を上げておく。
- ③ 入浴前には、体の末端部分にあたる手や足にお湯をかけ、体を徐々に温めてから風呂に入る。
- ④ お湯の温度は38～40℃程度に設定する。

自遊自在

冬のお風呂『ヒートショックと健康効果』

冬のお風呂には 思わぬ危険がひそんでいます。しかし、上手く入れれば高い入浴効果が得られます。

上手な入浴で健康効果!!
ヒートショック対策も忘れずに。

血行促進

リラックス



さて、そんなお風呂には、温熱効果があることをご存じでしょうか。実はこの温熱が、肩こりや腰痛に効くのです。お湯の中では適度な浮力と水圧があり、全身リラックスと血行促進の効果があります。特にぬるま湯に長く浸かることで、身体を芯から温めリラックスすることで筋肉の緊張をほぐし効果が上がるといわれています。また、カサカサお肌対策には、ぬるま湯で保湿成分や塩素除去剤を含む入浴剤を使用して長く浸かることもお勧めです。

情報to通



売

店の終わった後でも、お水とお茶を紙コップで頂け、自由で二人の時間が流れる「ホッ」と出来る空間。また、夜間の面会時にも良い場所です。こんな親切な病院は初めてです。
【60代女性・入院患者】

ト

イレを出来れば全てシャワー付きにしていただけると嬉しく思います。
【50代男性・入院患者】



部屋の角にお茶とお水のセルフコーナーがあります。

病院より 回答



患者さん、一般の方向け
「食堂・談話室・自販機コーナー」
開放時間 朝6:00～夜24:00

温かいお言葉ありがとうございます。今後も患者さんに、「納得」「安心」「満足」していただけるサービスを心がけてまいりますのでよろしくお願い致します。

ご意見ありがとうございました。入院病棟の全てのトイレはシャワー付になっています。一部シャワーが無いトイレは、重度の障がいがある患者様用のトイレです。このトイレは、身体の状態によっては、前からでも後ろからでも座れる構造になっているため、シャワーは付きません。ご理解のほどよろしくお願い致します。



塩こうじでほっこり♥鶏団子なべ

（塩こうじでほっこり♥鶏団子なべ） レシピ

<材料> 4人分

野菜

白菜 1/4玉
 長ねぎ 1本
 にんじん 1本
 糸こんにゃく(むすび) 200g
 いんげん 少量
 しいたけ(生) 4個

スープ

こんぶだし 1.5ℓ
 塩こうじ 大さじ3
 みりん 大さじ2
 だし割りしょうゆ 大さじ3

鶏団子

しょうが 20g
 長ねぎ 40g
 鶏もも肉(ミンチ) 500g
 卵黄 2個分
 塩・こしょう 少々
 だし割りしょうゆ 少々

<作り方>

- ①白菜は一口大のざく切り、長ねぎはななめ切りにする。にんじんは輪切りにしてから花型で抜く。鶏団子用のしょうがと長ねぎはみじん切りにしておく。
- ②鍋にスープの材料を合わせて、しいたけを加え、火にかける。
- ③鶏団子のたねを作る。材料をボウルに入れ、よく練る。
- ④沸騰したスープの中に③のたねをスプーンで丸めて入れる。
- ⑤あく、余分な脂が浮いてきたら、丁寧につくい取る。
- ⑥切った野菜と糸こんにゃく、いんげんを加える。野菜に火が通ったらできあがり。

※表示カロリーは1人分

栄養部 管理栄養士 村田宏江

おすすめ!!

栄養士が考える旬の健康食

「季節を食す」

★ポイント★

寒い時期には、体の芯からあたたまる鍋料理がいいですね。野菜がたっぷりとれるので、風邪予防にも最適です！入れる野菜はお好みで種類を変えてみてください。スープに塩こうじを使用することで、まるやかな仕上がりになります。塩分の気になる方はスープはあまり飲まないようにし、具材中心に食べましょう。



職員が紹介する

お・す・そ・わ・け・ス・ポ・ット

垂坂公園すぐ近くにある、店員さんの素敵な笑顔が輝くパン屋さんです。障害のある方々が働ける工房ということで16年前に始められたパン工房。2008年にリニューアルオープンし、お客様にくつろいでいただけるお食事コーナーが設けられ皆さんとのお交流場所になっています。パンは季節の食材を使って年4回フェアを開催しており、いつも30種類以上のパンが並んでいます。公園へお散歩する時など、立ち寄られてはいかがですか？8時〜11時までモーニングを行っており、パン料金+ドリンク+サラダで200円です。2500円以上お買い求めで配送していただけます！

O-su-so-wake Spot bakery shop 「Blooming」



クッキー
ラスクなどの
焼き菓子も



パンの種類は
30種類以上!!



ワンちゃんの栄養面に
考慮した犬用おやつ



ベーカリーショップ ブルーミング
「bakery shop Blooming」

- 所在地 四日市市別名3丁目3-10
 - TEL 059-331-8660
 - 営業時間 8:00~17:30
 - 定休日 第1・3・5土曜、日曜、祝日、月曜
- <http://www.blooming.or.jp/>



病診連携登録医

地域の病院・クリニックをご紹介します

医療法人 中嶋循環器科内科

開設来68年。専門医による地域かかりつけ医を目指し、取り組んでいます



院長 中嶋 一樹

診療科目

内科

循環器内科

呼吸器内科

アレルギー科

小児科



当院は中部地区の幸町で四日市中心部に近い住宅街にあり昭和20年「中嶋医院」として開業。平成18年に「中嶋循環器科内科」と変更継承し、私で3代目となる医院です。診療科として内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科、小児科を標榜し各科の患者さんや、親子3世代にわたり通っていただいている方もお見えになります。総合内科専門医、循環器専門医としての専門疾患の診療から、高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病や、気管支喘息、睡眠時無呼吸の診断治療、禁煙外来、アレルギー疾患、アトピー、各種予防接種等、多岐にわたって診させていただきます。

当院ではなるべく映像等のわかりやすい資料を用い、食事療法運動療法、家庭血圧測定等では治療に参加していただく様お話ししています。院内ではレントゲン撮影、心電

図、各種エコー検査、脈波、24時間心電図、呼吸機能検査、睡眠呼吸検査、迅速血液検査等を行い、その場で解析し画面で説明、治療方針を相談するようにしております。その上で精密検査、専門治療が必要な場合は四日市社会保険病院はもとより地域すべての基幹病院に紹介させていただきます。入院治療もお願いしています。今後も専門医による地域かかりつけ医を目指して取り組んでいきますのでお気軽にご相談ください。

診療時間・曜日	月	火	水	木	金	土	日
AM9:00~AM12:00	●	●	●	●	●	●	△
PM3:00~PM6:00	●	●	●	△	●	△	△

休診日/日曜日、祝日、木・土曜日午後

TEL 059-352-2211

FAX 059-354-2123

〒510-0069

三重県四日市市幸町6-9

<http://homepage2.nifty.com/nakajima-j/>



部署紹介

地域連携室「すずらん」

地域連携室では主に紹介患者さんを対象に地域の医療機関(開業医先生)との連携がスムーズに行われるよう努めています。

診察予約、病診検査予約(開業医先生から依頼を受けCT、MRI、PET等高度専門医療機器を使用した検査のみを当院で受けていただくシステム)の対応もすずらんで行っています。ご紹介いただいた患者さんの診察経過の報告書の送信、病状安定した患者さんを開業医先生方に逆紹介する調整なども行っています。

開業医先生からの時間外の診察予約のご依頼についても極力お引き受けできるよう調整を行っています。



また、医療ソーシャルワーカーによる医療福祉相談、退院支援業務も行っていきます。病院、開業医先生、患者さんが確実につながるための「橋渡し役」となれるよう心がけていきます。

連携室便り

総合診療科を開設しました

当院では平成25年11月より三重大学医学部附属病院総合診療科医師による「総合診療科」外来を開設しました。総合診療科では幅広く様々な病気や症状に対応させていただきます。不明熱、全身倦怠感、頭痛、腹痛、便通異常、不眠などの身体症状の背景にある心理・社会的な側面の理解が必要な患者さんについても診察させていただきます。診察日は毎週水曜日、午前中(9時~11時半まで)となっております。原則予約制ですので、かかりつけの先生より地域連携室すずらん(059-33316003)にお電話いただき、ご予約を取っていただいた上でご受診ください。



連携室よりみなさんへ

●外来診療担当表

2014年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	井本 一郎 消化器科・一般	杉本 龍亮 消化器科・一般	小寺 仁	大原 和人	渡辺 省三 消化器科・一般
		奥山 圭介	三宅 真人	岩佐 元雄 消化器科・一般	水谷 聡	筒山 はるな
総合診療科				田口 智博		
消化器内科	初診	★中島 滋人	樋口 国博	★中尾 一之	渡辺 省三	★白木 学
	再診	樋口 国博	★中尾 一之	副院長 木村 光政	★中島 滋人	
		大原 和人	渡辺 省三		樋口 国博	
			★白木 学			
		竹井 謙之 予約				
循環器科	初診	★川村 正樹	★山中 崇	◆角田 健太郎	★川村 正樹	★山中 崇
	再診	★川村 正樹 杉浦 武 PM 再診予約	★山中 崇 杉浦 武 PM 再診予約	★川村 正樹 ペースメーカー 外来	★川村 正樹 杉浦 武 PM 再診予約	◆角田 健太郎 ペースメーカー 外来
リウマチ科 (予約)		★佐藤 良子 再診予約		★佐藤 良子 PM 再診予約	★佐藤 良子 予約	★佐藤 良子 再診予約
呼吸器科	初診	浦和 昌史	小林 哲 10:30まで 診察受付			吉田 正道 11:00まで 診察受付
	再診	油田 尚総			藤原 研太郎 PM SAS	中原 博紀
腎・透析科			★水谷 安秀 食事指導外来	★水谷 安秀 再診予約	★水谷 安秀 第1・第3 再診予約	小寺 仁
糖尿病センター (予約)		馬嶋 知樹 糖尿病	院長 住田 安弘 AM 糖尿病	安間 太郎 AM 糖尿病	三好 美穂 AM 糖尿病	馬嶋 知樹 糖尿病
		三好 美穂 糖尿病	三好 美穂 糖尿病	島地 泰敏 甲状腺	島地 泰敏 甲状腺	島地 泰敏 甲状腺
			応援医師 糖尿病	近藤 正樹 AM 糖尿病		
神経内科	橘 径 PM 予約		田村 麻子 PM 予約			
心の診療科						岡野 禎治 PM 予約

診療科	月	火	水	木	金
外科 大腸肛門病 (IBD) センター	副院長 梅枝 寛 14:00~予約	名誉院長 松本 好市 予約	★野地 みどり	副院長 梅枝 寛 予約	★野地 みどり
	★北川 達士 AM 初診 14:00~乳腺予約	★北川 達士	★石井 雅昭	★北川 達士	★山本 隆行
	★野地 みどり 再診予約	馬場 卓也	★中山 茂樹	★山本 隆行 午後	★湯澤 浩之
	★山本 隆行	◆肥満 智紀		◆鳥井 孝宏	★石井 雅昭
	★中山 茂樹	副院長 梅枝 寛 予約		◆肥満 智紀	馬場 卓也
	★湯澤 浩之			★野地 みどり PM検査	
呼吸器外科			王 志明		
ペインクリニック			坂倉 幸子 9:30~ 予約	小西 邦彦 17:00~ 予約	
小児科	◆町田 祐子	副院長 渥美 伸一郎	◆町田 祐子	副院長 渥美 伸一郎	◆町田 祐子
	乳幼児健診 慢性疾患外来 (町田) 予約	予防接種 予約	慢性疾患外来 (渥美) 予約		慢性疾患外来 (町田) 予約
整形外科	★森下 浩一郎 予約	★新谷 健	★森下 浩一郎 予約	担 当 医	★森下 浩一郎 予約
	山田 淳一	山田 淳一	★新谷 健 山田 淳一 14:00~ ギプス外来	※木曜日は OPEの 都合で 外来診察医師 が変わります。	山田 淳一
産婦人科	★中 淳	米村 幸男	★中 淳	樋口 恭仁子	米村 幸男
泌尿器科	★加藤 貴裕	三木 学	★加藤 貴裕	三木 学	★加藤 貴裕
眼科	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ ~11:00	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ
			応援医師		
耳鼻科		間島 雄一 ~11:00			
皮膚科		水谷 仁 ~11:00		金森 祐太 ~11:00	
女性外来		樋口 恭仁子 婦人科			★野地 みどり 外科
					樋口 恭仁子 婦人科

★は初診です ★=部長 ◆=医長

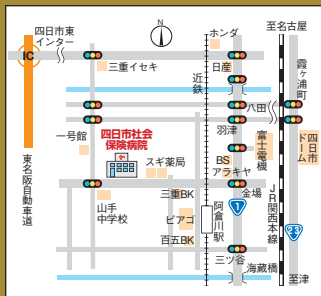
病院と地域を結ぶ

はづナビ

VOL.20

平成26年1月発行

発行：四日市社会保険病院
編集：四日市社会保険病院広報室
〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
TEL 059-331-2000
URL <http://www.hazu-yokkaichihp.jp>
編集協力：TCK Nagoya



公共交通機関のご案内

- 近鉄阿倉川駅より西へ徒歩約8分
- 近鉄四日市駅よりタクシーで約10分
- 三重交通バス羽津山経由Jヒルズ行(病院前下車)
- 生活バス(四日市社会保険病院下車)
- 東名阪、四日市東インターから約10分

四日市社会保険病院

検索



未来が変わる。日本が変わる。

掲示板



新任医師のご紹介

内科(糖尿病)

三好 美穂 (ミヨシ ミホ)

内科(消化器)

樋口 国博 (ヒグチ クニヒロ)

内科(後期研修医)

筒山 はるな (ツツヤマ ハルナ)

よろしくお願しいたします



第6回レディースDAYのお知らせ

開催日 平成26年3月20日(木)



女性限定の健診です

お問い合わせ

四日市社会保険病院 健康管理センター
TEL:059-331-1211(平日9:00~17:00)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は午年です。12年前の午年にはユーロ圏12か国でのユーロ流通が開始されました。現在はヨーロッパ23か国に拡大し流通しています。当院は今年4月より「四日市羽津医療センター」として新たな歩みを始めます。12年後の午年にも変わらず地域の方に愛される病院であると共に世の中の変化に対応し進化、存続できる病院でありたいと願っています。